

「フランス語ガイド明治神宮・表参道研修」終了報告

2019年2月28日（木）実施 第一支部運営委員会

2月28日（木）12:30-16:00、第一支部「フランス語ガイド明治神宮・表参道」研修が講師に日本で唯一のフランス人女性全国通訳案内士の Ms. PICHARD をお迎えし実施されました。参加者は会員15名(限定)、委員1名計16名で、参加者の資格言語は仏/英語7名、仏語7名、英語1名でした。当日は生憎の雨模様でしたが、Ms. PICHARD のモデルガイディングが明治神宮の大鳥居の前から始まると、皆さん大いに熱意をもって聴き入り、フランス語での説明や言葉使いを一言も漏らすまいと真剣そのものでした。大鳥居の前では、明治神宮の歴史や神道と仏教の違いを説明し、その後、参道を歩きながら、日本近代化の歴史を説明されました。酒樽の前で神道と酒の関係を説明し、フランスブルゴーニュのワイン樽の前では、左端下段の樽のシャトー名(Bouree)の発音が酔っ払いを意味するとフランス人ならではの説明がありました。手水舎ではお清めのやり方を説明しながら実演。拝殿前ではお参りの方法を説明し、日本では神に感謝してお参りするが、フランス人は何かをお願いする為にお祈りすると、お参りの違いを説明。文化館で休憩後、竹下通りをガイディング。フランスでは日本のコスプレが有名で、竹下通りはその恰好の人ばかりと想像してきていると説明されました。日本は今ではコスプレブームから KAWAII ファッション



に変化しているようです。又、フランス人にはプリクラや猫カフェ、フクロウカフェも人気とのこと。その後、キャットストリートを歩き表参道へ。表参道ヒルズの中を通り、隣の旧同潤会アパート部分を抜けて表通りに戻りました。ユニークな建物の TOD's 表参道ビルや BOSS のビルを説明した後、フランス語名の結婚式場「アニベルセール」のロビーを見学し、日本の西洋式結婚について解説。その後、根津美術館方向へプラダまで視察。そして、表参道通りに戻り、明治神宮前駅近くのカフェに入り、Ms. PICHARD が用意したフランス語テキストを基に、今回歩いた場所についての説明文とポイントを座学で約1時間解説。その後、質疑応答となり、皆さん日頃から思っているフランス語でのガイドについて活発に討議されました。今回の研修は JGA として初めての試みで、参加者から大変貴重な体験ができたとの感謝の言葉を頂きました。雨の中にも負けず、参加者の熱意と Ms. PICHARD 講師のご協力に深く感謝致します。